

# 各地区連絡会における現状と課題について

(仙台・東部・気仙沼)

H26.3.19

平成 25 年度第 3 回建設資材対策東北地方連絡会宮城県分会

## 目 次

1	仙台地区	.....	1
2	東部地区	.....	3
3	気仙沼地区	.....	4

## 各地区連絡会における現状と課題について

現状	課題
<p>○生コンクリート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・慢性的に生コン入手が不安定になっている。</li> <li>・コンクリートの予約が非常にとれにくく工程に支障がでている。</li> </ul> <p>○吸出防止材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・河川用吸出防止材が平成26年2月頃から入手困難な状況</li> </ul> <p>平成25年12月に契約した河川災害復旧工事としてカゴ工による護岸工事を施工中であるが、1月下旬に吸出防止材の入手が困難であると施工業者からの情報を入手した。</p> <p>施工業者経由で、(株)田中仙台営業所(ニードフルマット製造メーカー)から状況を確認したところ、海岸用のマット(t=5mm)については在庫があるものの河川用吸出し防止材(t=10mm)については品薄であるとのことだった。その後、必要量が少量等の理由で3月上旬に入手できた。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1箇所のプラントだけでは、計画工程通りの確保が難しいことから、複数のプラントから賄っている状況にある。</li> <li>・請負者から現場打ちコンクリートから二次製品化の承諾にて生コンの入手困難を解消している。(矢板護岸の笠コンクリート、堤防天端被覆コンクリート等)</li> <li>・大口納入の場合は1～2月前から予約しないと施工したい日に納入できない。</li> <li>・納入日が確定してもコンクリートポンプ車も混んでいるので3者を一致させるには2ヶ月前の予約となる。</li> <li>・予定日に施工できない場合はまたさらに月単位で予約が遅れるので工程に多々余裕をとらざるをえなくなる。</li> <li>・小口(1台程度)一週間前から予約しても午後しか納入できない。生コン工場が他現場への納入が終了した後の15:00以降の納入が殆んどである。</li> <li>・単価はスライドをしても設計単価とは500円程度逆ザヤとなっている。</li> </ul> <p>・今後同様事例が発生した場合の対応策</p>

## 各地区連絡会における現状と課題について

現状	課題
<p>○アスファルト</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・予定数量を納入できない。</li> </ul> <p>○砕石、盛土材</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小口は事前予約で納入可能。</li> <li>・大口は予定数量を納入できない。</li> </ul> <p>○コンクリート二次製品</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・製品の納入が悪い。</li> </ul> <p>○仮設用鋼材(鋼矢板、型鋼等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・調達に時間を要し始めている。</li> </ul> <p>○その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クレーンの予約がとれない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特に3月は年度末の繁忙期の為、プラントでは骨材及びダンプトラックが足りない状態で1日の予定数量を納入できない状態であった。</li> <li>・ダンプトラック、骨材、アスファルト、電力等単価高騰の為、4月から値上げ予定。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小口は使用日にあわせ事前(7日以上前)に予定を入れておけば納入可能。</li> <li>・大口は事前に予定を入れても、ダンプトラックが確保出来ない為か3~4台程度の折り返し程度で1日の予定数量を納入できない状態。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に契約して予定している製品はオーダーしてから7日位で納入してもらえが、時間指定はできない。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設計を上回る規格で入手可能な規格を使用している箇所がある。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クレーンの予約がとれず工程(足場・鉄筋・型枠作業)に支障がでており、やっと確保できた生コンクリートの施工ができるか非常に心配である。</li> </ul>

### 各地区連絡会における現状と課題について

現状	課題
<p>○事業関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・東部管内の道路災害復旧事業の内、路面災などは、震災から3年経過し、工事のピークは過ぎつつある。</li> <li>・東部管内での河川、海岸、漁港等の災害復旧事業は、これから本格的な工事が始まる。</li> </ul> <p>○資材関係</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・捨石は、非常に現場に入りにくい状況が続いており、特に規格が小さいものは小割りするのに手間がかかることから、非常に入りにくい状況となっている。また、捨石積込専用(通常のダンプではなく補強されているダンプ)のダンプの不足も考えられる。</li> <li>・生コンは、1日当たりにとまとった量の搬入が出来ない状況が続いている。施工業者からは、一日当たり20m<sup>3</sup>までに制限されており、原因は碎石等の骨材不足によるとの情報がある。</li> <li>・ある舗装業者からは、碎石が再生・バージン含めて不足しているとの情報が最近あった。</li> </ul>	<p>○これからは、河川や海岸工事が本格化し、捨石や生コンが大量に必要となるが、これまでの状況を見ると、捨石や骨材の石関係の不足が明らかであり、碎石業者の生産力を上げるための、何らかの対応が必要である。</p> <p>○また、砂については県外からの調達も行っていることから、捨石や碎石についても県外調達について検討する必要がある。</p>

